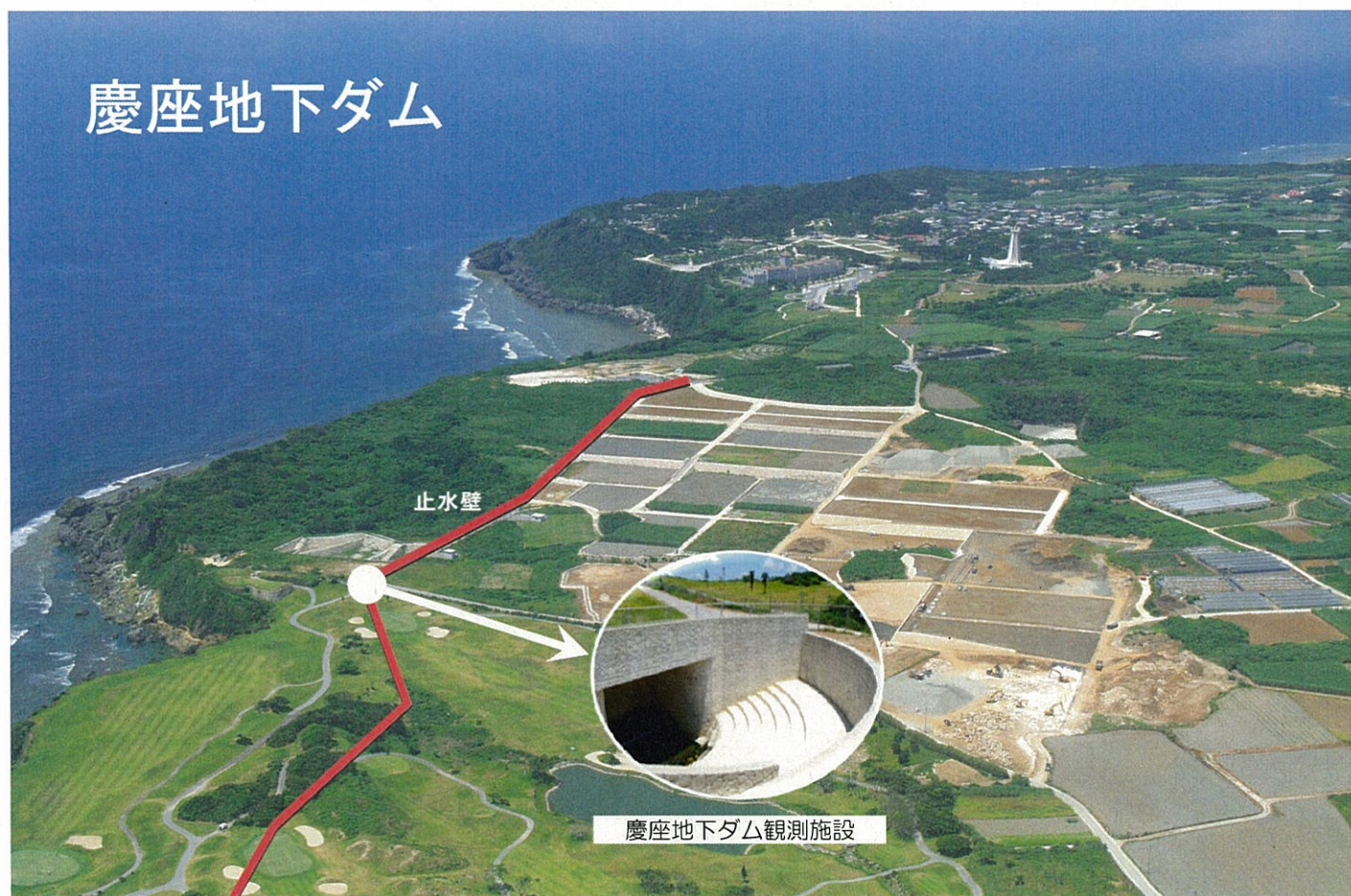


沖縄本島南部地下ダム

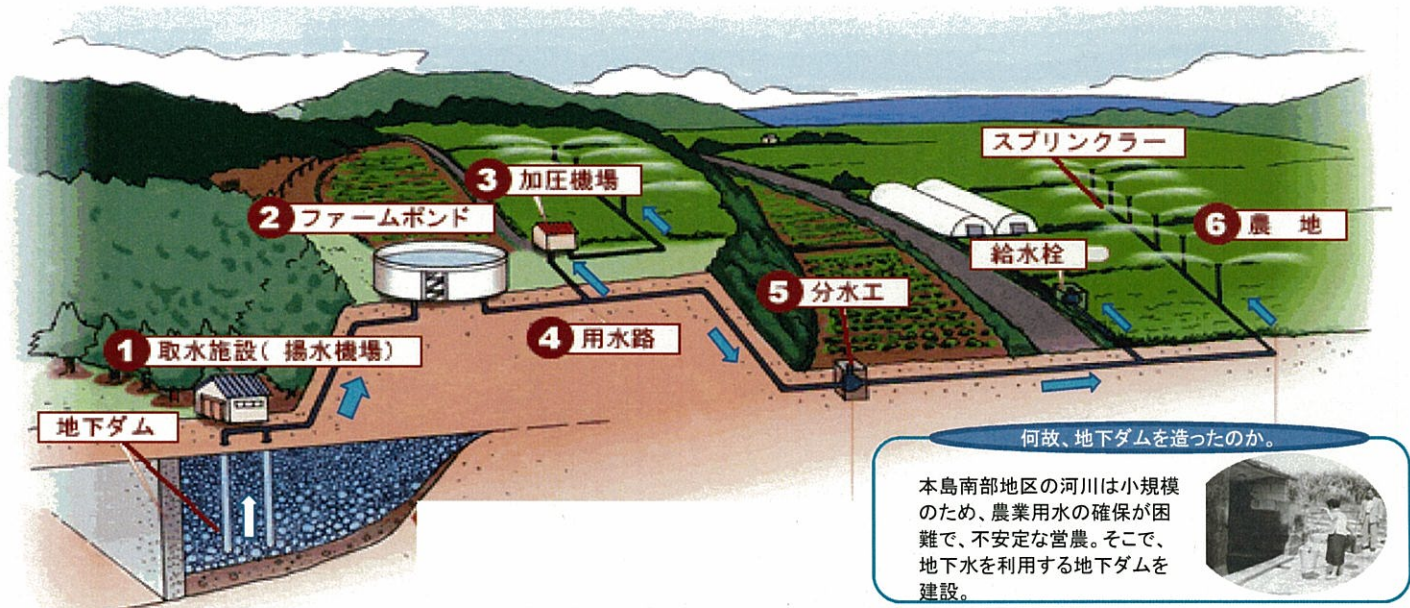
米須地下ダム



慶座地下ダム



地下ダムの水を農地まで運ぶしくみ



地下ダムによる豊かな農業のはじまり

① 干ばつの解消と収穫量の増加



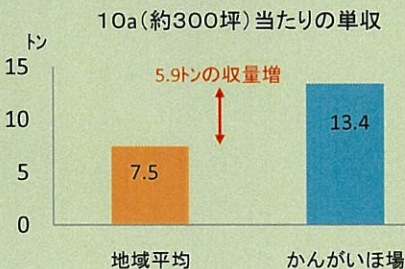
② 価格の高い作物の導入



③ 労働力の軽減



地下ダムによる効果 ～収量の向上



■朝採りの新鮮な野菜を消費者へ届けたい。



ピーマン生産農家
山城 学さん

地下ダムができるまで、農業用水を確保する労力は大変なものでした。「朝2時に起きて、日に何度も水汲みや水運びに手をとられていた」と山城さん。「今も朝が早い」といっても水の苦労がまだ続いているわけではありません。朝一番の取れ立てを直売店へ出荷するため。「新鮮なものを喜んで食べてもらいたいです」と充実の毎日を話してくれました。

■サトウキビは、かん水を行うことで、明らかに収量に差が出ます。



サトウキビ生産農家
玉城 盛徳さん

玉城さんは長年の体験から言います。「サトウキビは、やはり、水のある、なしでは根の張りが違います。台風にも倒伏が少なくて済み、その後の成長度にも差が出ます。」と、水の重要性を強調していました。

交通のご案内



米須（こめす）地下ダム
観測施設（糸満市）

慶座（ぎいざ）地下ダム
観測施設（八重瀬町）



那覇空港から国道331号線で「ひめゆりの塔」300m先の「米須西交差点」を右折し、施設案内標識に従い進むこと約3分

那覇空港から国道331号線で「平和祈念公園」800m先の「山城鉾山」を右折し、施設案内標識に従い進むこと約2分



パンフレットに関するお問い合わせ

内閣府 沖縄総合事務局 土地改良総合事務所

「水土里(みどり)の広報室」

TEL 098 - 856 - 6868